

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 大村紙業株式会社  
 コード番号 3953 URL <http://www.ohmurashigyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大村 日出雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浅岡 豊治  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

TEL 0467-52-1032

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,565	—	180	—	183	—	100	—
20年3月期第2四半期	2,371	4.5	123	△11.1	126	△10.7	76	△2.2

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	20.92	—
20年3月期第2四半期	15.87	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	5,975	3,806	63.7	790.79
20年3月期	5,668	3,755	66.3	780.15

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,806百万円 20年3月期 3,755百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,563	12.1	359	0.7	360	0.9	180	△10.5	37.41

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務情報等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 4,884,000株 20年3月期 4,884,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 70,999株 20年3月期 69,700株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 4,813,715株 20年3月期第2四半期 4,815,271株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、原油価格や原材料価格の高騰、サブプライム問題に端を発した米国発の金融市場の混乱等により、当第2四半期後半になると景気の減速がいつそうはっきりした状況となっております。

当業界におきましても、重油価格の相変わらずの高値安定や各種原材料価格の高騰を受けて製造原価のコスト増や設備投資の縮小傾向が強まっている状況です。

このような状況下において、生産量につきましては、段ボールシート28百万㎡、段ボールケース18百万㎡となりました。

また、当第2四半期累計期間の売上高は、2,565百万円、経常利益183百万円、四半期純利益は100百万円となりました。

販売品目別の概況は次のとおりであります。

## (イ) 段ボールシート

売上高は524百万円

総売上高に占める割合は20.4%です。

## (ロ) 段ボールケース

売上高は1,641百万円

総売上高に占める割合は64.0%です。

## (ハ) ラベル

売上高は83百万円

総売上高に占める割合は3.3%です。

## (二) その他(主に包装資材)

売上高は315百万円

総売上高に占める割合は12.3%です。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ306百万円増加し、5,975百万円となりました。これは主に下期に原紙値上げが見込まれたため前もって原紙を購入した分の増加分と埼玉事業部が完成したため建設仮勘定から建物勘定への振替分であります。

負債は、前事業年度末に比べ256百万円増加しました。これは原紙値上に伴い前もって購入した分の支払手形の増加によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ50百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ、47百万円増加し、1,372百万円となりました。

当第2四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、次のとおりであります。

## (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、9百万円減少し、149百万円となりました。これらの主な資金増の要因は、税引前四半期純利益が179百万円、下期に原紙の値上が見込まれた事により、前もって原紙を購入した為、仕入債務の増加額273百万円および減価償却費60百万円によるものであります。一方、主な資金減の要因は、たな卸資産の増加額284百万円および法人税等の支払額102百万円によるものであります。

## (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期会計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、70百万円減少し、52百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出であります。

## (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期会計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ、ほとんど差がなく48百万円となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期会計期間が経過した段階では、ほぼ当社が想定した推移となりました。また、下期におきましては、原紙価格の改定とともに売価に反映できるものと考えておりますので、ほぼ当初の計画に沿う推移になるものと分析しております。

従いまして、平成20年5月20日発表の通期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①貸倒引当金の算出方法は、一般債権の貸倒実績率等が前事業年度の財務諸表作成において使用した貸倒実績率と著しく変動していないため、当第2四半期会計期間末において、前事業年度末において算定した貸倒実績率を使用しております。

②定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、主として総平均法による原価法から主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,401,670	1,353,609
受取手形及び売掛金	1,396,751	1,426,213
有価証券	2,665	2,661
製品	42,290	42,562
原材料	505,714	212,181
貯蔵品	35,492	44,376
その他	74,276	69,169
貸倒引当金	△9,777	△9,983
流動資産合計	3,449,083	3,140,791
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	475,217	329,537
土地	1,347,397	1,341,298
その他(純額)	290,414	441,716
有形固定資産合計	2,113,029	2,112,552
無形固定資産	23,993	25,130
投資その他の資産		
投資有価証券	183,533	190,032
その他	213,723	207,968
貸倒引当金	△7,509	△7,536
投資その他の資産合計	389,747	390,464
固定資産合計	2,526,770	2,528,147
資産合計	5,975,854	5,668,939
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,421,359	1,137,700
未払法人税等	82,399	108,299
その他	221,024	232,047
流動負債合計	1,724,783	1,478,047
固定負債		
退職給付引当金	141,337	131,291
役員退職慰労引当金	303,646	303,710
固定負債合計	444,984	435,002
負債合計	2,169,767	1,913,049

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,000	554,000
資本剰余金	566,030	566,030
利益剰余金	2,721,895	2,669,330
自己株式	△40,261	△39,602
株主資本合計	3,801,663	3,749,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,423	6,130
評価・換算差額等合計	4,423	6,130
純資産合計	3,806,086	3,755,889
負債純資産合計	5,975,854	5,668,939

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	2,565,439
売上原価	1,842,251
売上総利益	723,188
販売費及び一般管理費	542,238
営業利益	180,949
営業外収益	
受取利息	1,631
受取配当金	1,546
雑収入	2,177
営業外収益合計	5,355
営業外費用	
支払利息	1
売上割引	2,361
雑損失	310
営業外費用合計	2,672
経常利益	183,631
特別損失	
固定資産除却損	2,561
投資有価証券売却損	1,587
投資有価証券評価損	212
特別損失合計	4,360
税引前四半期純利益	179,271
法人税、住民税及び事業税	77,252
法人税等調整額	1,311
法人税等合計	78,563
四半期純利益	100,707

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	1,291,704
売上原価	923,328
売上総利益	368,375
販売費及び一般管理費	273,459
営業利益	94,915
営業外収益	
受取利息	1,335
受取配当金	2
雑収入	1,402
営業外収益合計	2,740
営業外費用	
支払利息	1
売上割引	1,223
雑損失	143
営業外費用合計	1,367
経常利益	96,287
特別損失	
固定資産除却損	135
投資有価証券売却損	1,587
投資有価証券評価損	212
特別損失合計	1,934
税引前四半期純利益	94,352
法人税、住民税及び事業税	19,505
法人税等調整額	22,542
法人税等合計	42,047
四半期純利益	52,305

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	179,271
減価償却費	60,084
未払人件費の増減額(△は減少)	△6,063
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,045
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△64
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△233
受取利息及び受取配当金	△3,177
支払利息	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△170
有形固定資産除却損	2,757
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	1,799
売上債権の増減額(△は増加)	29,220
たな卸資産の増減額(△は増加)	△284,376
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,857
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△2,111
仕入債務の増減額(△は減少)	273,792
未払金の増減額(△は減少)	14,392
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△450
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,536
小計	249,323
利息及び配当金の受取額	3,154
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△102,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,720
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の増減額(△は増加)	△101
有形固定資産の取得による支出	△56,108
有形固定資産の売却による収入	691
投資有価証券の売却による収入	1,862
従業員に対する貸付けによる支出	△100
従業員に対する貸付金の回収による収入	792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,964
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△658
配当金の支払額	△48,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,963
現金及び現金同等物の期首残高	1,324,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,372,627

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高	2,371,772	100.0
II 売上原価	1,720,223	72.5
売上総利益	651,549	27.5
III 販売費及び一般管理費	528,061	22.3
営業利益	123,487	5.2
IV 営業外収益		
受取利息	2,241	
その他	4,248	
営業外収益計	6,490	0.3
V 営業外費用		
支払利息	1	
売上割引	2,056	
その他	922	
営業外費用計	2,980	0.1
経常利益	126,997	5.4
VI 特別損失	908	0.1
税引前中間純利益	126,088	5.3
法人税、住民税及び事業税	50,060	
法人税等調整額	△375	
中間純利益	76,402	3.2

## (2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前中間純利益	126,088
減価償却費	53,487
未払給与等の減少額	△1,474
退職給付引当金の増加額	1,357
貸倒引当金の減少額	△2,462
受取利息及び受取配当金	△3,754
支払利息	1
有形固定資産売却益	△394
有形固定資産除却損	1,438
有形固定資産売却損	22
売上債権の減少額	77,246
たな卸資産の増加額	△68,489
その他流動資産の増加額	△2,772
その他固定資産の増加額	△2,292
仕入債務の増加額	23,870
未払金の増加額	20,933
その他流動負債の増加額	1,426
消費税等収支額	△4,598
小計	219,632
利息及び配当金の受取額	3,722
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△64,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,951
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期性預金の預入及び解約による収支額	0
有形固定資産の売却による収入	695
有形固定資産の取得による支出	△123,721
無形固定資産の取得による支出	△948
従業員貸付金の減少額	1,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,966
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	△651
配当金の支払額	△48,023
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,674
<b>IV 現金及び現金同等物の減少額</b>	△12,689
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,405,151
<b>VI 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	1,392,462

## 6. その他の情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
シート	(千㎡)	28,486
ケース	(千㎡)	18,231
ラベル	(千通)	15,513

## (2) 製品仕入実績

当第2四半期累計期間の製品仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
ケース	(千円)	94,859
附属品	(千円)	3,444
その他	(千円)	99,655
合計	(千円)	197,958

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 受注状況

当社は段ボールシート、段ボールケース、ラベルについては受注生産ではありますが、生産と販売との関連において製品の回転がきわめて早く、月末における受注残高が少ないので「(4) 販売実績」を受注とみて大差ありません。

## (4) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別		当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
シート	(千円)	524,528
ケース	(千円)	1,641,661
ラベル	(千円)	83,670
その他	(千円)	315,579
合計	(千円)	2,565,439

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。